

山口大学教育学部附属特別支援学校

令和7年度 特別支援教育授業づくり研修会

令和8年1月30日(金)実施

【研究主題】

「豊かに生きる力」を育む自立活動を基軸とした教育実践

本校では、『「豊かに生きる力」を育む自立活動を基軸とした教育実践』とテーマを設定して研究に取り組みました。本研修会では、昨年度までの研究の知見をもとに、自立活動を基軸とした教育実践を積み重ね、その研究結果を報告しました。午前の全体会では各学部の代表児童・生徒がチャレンジタイムの取組について発表しました。公開授業では、参加していただいた先生方とともに、自立活動の視点を踏まえた各教科等の授業づくりについて検討し、多くの御意見や気づきを得ることができました。また、午後からは宮木秀雄准教授による『「豊かに生きる力」を育むためのポジティブ行動支援』についての講演が行われました。講演から、本校の目指す「豊かに生きる力」には、児童生徒の「心のメッセージ」が伝わる安心感と、成功体験に裏打ちされた主体性が必要であると再確認しました。今後も、児童生徒の QOL の向上を目指し、日々の研鑽を積み重ねて参りたいと思います。

チャレンジタイム取組発表



小学部 算数科 「買い物名人になろう」～硬貨の種類を理解して支払いをしよう～



中学部 数学科 「『単位量当たりの大きさ』で比べよう」～変化と関係～



高等部 美術科 「はりこの大内人形」



講演

教材展示コーナー



～アンケートより～

- 自己選択・自己決定の場が多く設定されていることや、構造化された授業設計等々に多くの学びを得ました。
- どんな時でも、生徒が「自分が授業に関わってる」と強く感じられる工夫があることに関心を持ちました。
- 自己選択・自己決定の機会設定について、実際の授業風景を見ることができ、大変参考になりました。
- 自分の反応が子どもの行動に繋がるのだとわかり、改めて特別支援教育の責任の大きさとやりがいを感じることができました。

小・中・高・特別支援学校の多校種に及ぶ先生方、他県からも多くの方にご参加いただき、貴重な御意見をいただくことができましたこと心よりお礼申し上げます。今後の研究や教育活動に生かして参りたいと思います。